



令和2年産に向けて

(前年産の課題を、本年産で解決しましょう!)

＊管理のポイント（収穫後～令和2年産播種前）

1. 堆肥・土壌改良材の施用 ～収量・品質向上の土台づくり!～

1) 施用は収量・品質の低かった圃場が優先

＊施用前に土壌pH等の分析を行うと効果的です。

参考① 堆肥・土壌改良材の例

資材名	成分	目的	施用量/10a
牛糞堆肥	窒素、リン酸、カリ等	地力増進	1～1.5t
ミネラルG	ケイ酸、石灰、鉄等	ケイ酸、微量元素補給	100～200kg
苦土石灰	石灰、苦土	酸度矯正	下表参考

参考② 酸度矯正を行う場合の、苦土石灰施用量の目安

土壌の種類	土壌pH・施用量 (kg/10a)			
	<4.0	<4.5	<5.0	<5.5
黒色～淡色火山灰土壌	480	340	200	100
粘質～壤質土壌	340	240	150	70

＊石灰質資材を一度に施用する量の上限は300kg/10a。これを超える場合は何年かに分け施用すること

2) 散布後は速やかにすき込む。

＊すき込み＝施用完了

3) 堆肥は農閑期に施用し、作土と十分なじませることが重要

2. 農業機械の整備・保全 ～保管前は不具合対策の好機!～

1) 屋外の湿気は機械を壊す元、屋内保管が大原則

2) 燃料タンク内は「軽油は満タン。ガソリンは空っぽ」に!

＊燃料は火気厳禁です、特にガソリンの取扱いは慎重に行ってください!

3) 汚れたオイルはエンジン故障の元、保管前に交換を

4) 水洗い前に電線・回路の防水を ＊水・湿気によるサビは機械が故障する元!

5) 洗って干したら動く部分に潤滑油差し ＊作業前に効いてきます。

6) バッテリーの電極は、片方外して放電防止

＊充電は、機械を動かす1～2か月前に行うと速やかに作業できます。

7) かじられる・汚される前のネズミ対策 ＊まず機械のゴミ掃除、次にネズミの駆除

8) 耕耘爪等すり減る部品の点検・交換 ＊作業直前に部品が買えるとは限りません!

・保管前の整備が、翌年の効率的作業や修理費の節減につながります。農作業と同様に、事故に注意して作業を行ってください。

3. 資材購入時の留意点 ～前年産の生育を振り返り、無駄なく購入～

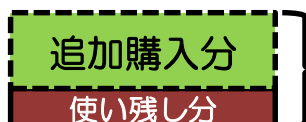
1) 購入資材の検討

栽培暦及び前年産の生育及び収量・品質を参考に

①土壌改良材等：収量・品質の低い圃場面積に応じた量を準備

②農薬：雑草・病害虫の発生に応じた薬剤を選択

2) 前年産の使い残し分は、本年産で使い切りましょう!



・農薬については、使用期限の切れたものは適切に廃棄しましょう。